

日本河川・流域再生ネットワーク <http://www.a-rr.net/jp/>  <https://www.facebook.com/JapanRRN>

「日本河川・流域再生ネットワーク (JRRN)」は、河川再生について共に考え、次の行動へ後押しする未来志向の情報を交換・共有することを通じ、各地域に相応しい河川再生の技術や仕組みづくりの発展に寄与することを目的に活動する団体です。またアジア河川・流域再生ネットワーク (ARRN) の日本窓口として、日本の優れた知見をアジアに向け発信し、海外の素晴らしい取組みを国内に還元する役割を担います。

目次	Pages
➤ JRRN 事務局からのお知らせ	1
➤ 会員寄稿記事	4
➤ JRRN 会員・ARRN 関係者からのお知らせ	8
➤ 会議・イベント案内 & 書籍等の紹介	9

## JRRN 事務局からのお知らせ (1) JRRN Activity Report

### 「桜のある水辺風景 2017」 今年も写真を大募集!! の巻

ちょっと気が早いですが、JRRN では、今年も「桜のある水辺風景」の作品募集を予定しています。

昨年は Facebook での応募も開始しました。引き続き、皆様に大いに投稿していただけるよう、事務局で企画検討中です。「こんなふうにしてほしい」「こんなテーマだと面白いのでは？」など、皆様のご要望、アイデアを、事務局までメール等でどしどしご連絡ください。積極的に参考にさせていただきます。

応募開始時期は3月を予定しています。まずは水辺にどんどん出かけて、桜のある風景を撮ってみてください。



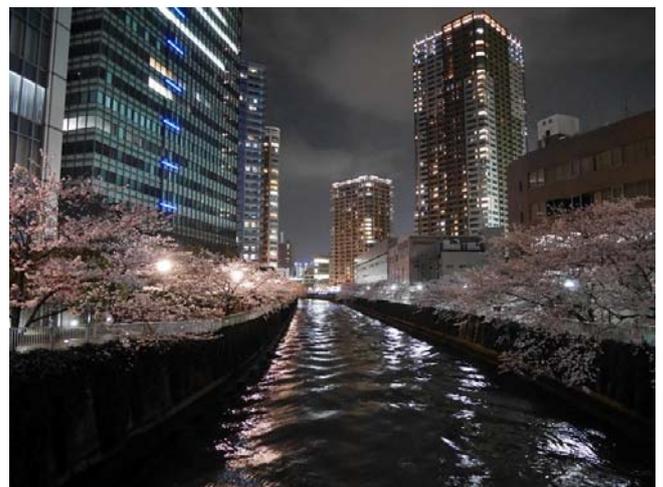
※JRRN では、毎年、桜のある水辺風景の写真を募集し、応募作品を写真集として取りまとめています。バックナンバーは以下より入手できます。

<http://jp.a-rr.net/jp/activity/publication/category/cherryphotos>

※昨年度から始めた「桜のある水辺風景」Facebook ページはこちら。2016年の作品がご覧になれます。



<https://www.facebook.com/sakuramizube/>



昨年度の投稿写真から。  
桜は水辺にやすらぎや彩りを与えてくれます。

(JRRN 事務局・阿部充)

## JRRN 事務局からのお知らせ (2) JRRN Activity Report

## 小さな自然再生普及プロジェクトー 『第3回「小さな自然再生」現地研修会 in 福岡県福津市・上西郷川 (2016年7月28日)』 報告書発行案内

福岡県福津市を流れる上西郷川をフィールドに、小さな自然再生の考え方や留意点、市民主体の川づくりについて講義により学ぶとともに、生物の豊かな棲みかとなる簡易的な水制（間伐材水制）の施工作業を通じて小さな自然再生の知見を深めることを目的とした現地研修会を昨年7月に開催しました。

大変遅くなりましたが、本研修会で学んだ内容を写真や資料を中心に取りまとめた簡易報告書が完成しましたので、当日参加頂けなかった皆様にもご活用頂ければ幸いです。

本研修に全面協力頂きました上西郷川日本一の郷川をめざす会、福岡県福津市役所建設課、九州大学大学院工学研究院流域システム工学研究室及び「小さな自然再生」研究会の皆様には厚く御礼申し上げます。

※報告書は右記 URL よりダウンロード可能です。

※本活動は、(公財)河川財団の河川基金の助成を受けて実施しています。



■ 第3回「小さな自然再生」現地研修会 開催報告  
<http://jp.a-rr.net/jp/activity/publication/172>

(JRRN 事務局・和田彰)

## JRRN 事務局からのお知らせ (3) JRRN Activity Report

## アジア河川・流域再生ネットワーク(ARRN)活動紹介ー ARRN 主催「第14回 水辺・流域再生にかかわる国際フォーラム」開催予告 (2017年8月・マレーシア)

本年で14回目となります ARRN 主催「水辺・流域再生にかかわる国際フォーラム」を、2017年8月にマレーシアの首都・クアラルンプールで開催される「第37回国際水圏環境工学会総会(IAHR2017)」の分科会 (Special Session 5) として開催致します。

ARRN フォーラムの本年の主テーマは「Function of Governance to River Restoration under the Climate Change」。プログラム詳細は以下の IAHR ホームページで随時更新されますのでご覧ください。

(JRRN 事務局・和田彰)



IAHR2017 : <http://www.iahrworldcongress.org/index.php/programme/special-session>

## 写真で振り返る2016年のJRRN活動

**第9回淡海の川づくりフォーラム発表**  
**[2016.2.13@滋賀・大津市]**

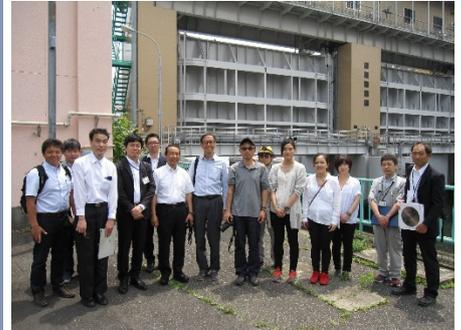

水辺の小さな自然再生の普及促進を目的に発表・参加して参りました。

<http://jp.a-rr.net/jp/activity/public/396>

**韓国・国土環境研究所視察団交流**  
**[2016.2.15@東京]**


アオコ対策や川づくりの市民連携をテーマに意見交換を行いました。

<http://jp.a-rr.net/jp/activity/public/407>

**香港特別行政区渠務署視察団交流**  
**[2016.5.23-25@東京]**


首都圏の洪水・高潮対策や環境保全に関わる現場視察を支援しました。

<http://jp.a-rr.net/jp/activity/public/420>

**第3回小さな自然再生研修会**  
**[2016.7.29@福岡・上西郷川]**


座学+間伐材水製の施工実習で構成される現地研修会を開催しました。

<http://jp.a-rr.net/jp/activity/public/431>

**第13回ARRN国際フォーラム**  
**[2016.8.24@韓国・仁川市]**


HIC2016 特別セッションとして ARRN フォーラムと運営会議を開催しました。

<http://jp.a-rr.net/jp/activity/public/439>

**第5回小さな自然再生自由集会**  
**[2016.9.2@東京]**


約90名の参加者とともに小さな自然再生の事例や知見を共有しました。

<http://jp.a-rr.net/jp/activity/public/445>

**第4回小さな自然再生研修会**  
**[2016.10.28@兵庫・武庫川]**


魚類の生息・遡上環境の改善をテーマに現地研修会を開催しました。

<http://jp.a-rr.net/jp/activity/public/458>

**ARRN 2017 準備会議**  
**[2016.11.29@中国・北京市]**


中国水利水電科学研究院を訪問し ARRN forum2017 企画について協議しました。

<http://jp.a-rr.net/jp/news/info/757.html>

**第5回小さな自然再生研修会**  
**[2016.12.8@千葉・神崎川]**


神崎川上流部の地域資源としての活用をテーマに現地研修会を開催しました。

<http://jp.a-rr.net/jp/activity/public/472>



JRRN は 2016 年 11 月 9 日に **設立 10 周年** を迎えました。

2月



出典：筑後川の菜の花

<http://sozai-photo.com/nanohana/nanohana.html>

## あの日のあの川 リレー日記 ～第25話～



あの日のあの川  
リレーDiary

みなさんはどこの川でどんなことをした記憶がありますか？幼少期や青春時代に体験した川での記憶を日記として掘り起こして語るコーナーです。リレー形式で毎回次の人にバトンをつなぎます。

### 第25話主人公 藤原誠士

(筑波大学 社会・国際学群 国際総合学類4年 白川(直)研究室『川と人』ゼミ)

(□川ガール・■川系男子)

(出身地を流れる川：福岡県筑後川)

### 「名曲に触れて」

いつのこと？：幼少期～これから

どこの川？：筑後川，桂川（筑後川支流），堀川（用水路）

「筑後平野の百万の生活の幸を祈りながら川は下る」この言葉にピンとくる方がもしかしたらいるのではないのでしょうか。これは丸山豊さん作詞，團伊玖磨さん作曲の合唱組曲「筑後川－河口－」の一節です。僕は音楽に詳しいわけではありませんが、「河口」の曲の始まりを聴くと自然と鳥肌が立ってしまい，團伊玖磨さんが素晴らしい作曲家だということを素人ながら実感しています。合唱組曲「筑後川」は，九州一の大河筑後川が阿蘇のふもとに生まれ，筑後平野を横断し，有明海へと流れていく姿を，あるときは清らかに，またあるときは激しく，壮大に表現した名曲です（本稿の最後に歌詞を載せています）。小さな水の流れが紆余曲折を経て大河と成る筑後川を，人の人生にもなぞらえておおらかに歌い上げられたこの曲は，1968年に作曲者團伊玖磨さん自身の指揮で初演され，50年近く経った現在でも歌い継がれています。特に第5楽章「河口」は，全国の多くの小中学校の卒業式で，門出を祝うにふさわしい曲として歌われているそうです。

恥ずかしいことに，僕は筑後川流域に生まれ育っておきながら大学卒業間近まで，多くの人に愛されているこの曲を知りませんでした。初めて聴いたのは研究室の先輩で川系男子の坂本貴啓さんに，本稿を地元の筑後川について書くと話した時のことで，この曲の清らかさ，雄大さ，そして願いに強く引き付けられました。聴

けば聴くほどこの曲の持つ深い意味合いを感じ、おそらく僕がこの曲について大方理解できるようになるのは、この先様々な出来事を経験したのちのことだろうと想像しています。

小さい頃はよく兄弟と川で遊んでいました。家の近くを流れる桂川（筑後川支流）でカニやザリガニを見つけたり、小学校高学年になると堰や堤、用水路（堀川）で泳いだり飛び込んだりしていました。それが学校の先生に伝わり、反省文を書かされてもこっそり遊んでいたのを覚えています。今考えると随分危険なことをしていたなと思います。そうやって何も考えずに日々を過ごしていたころと比べると、今は時間に追われ、楽しいことも減っている気がします。



堀川用水  
出典：ふるりの蒸気機関車

また、私事ですが、僕は将来の人生設計について考えた結果、大きく進路を転換し、これまで歩んできた自分が通るであろう道とは違う道へ挑戦しようとしています。そのため、これまでその道をまっすぐ歩んできた人たちの中で自分がやっつけていけるか、ということに大きな不安を感じています。このような状況で楽曲「筑後川」と出会い、その音色と歌詞に勇気づけられた部分も多いです。



三連水車  
撮影者：坂本貴啓

現在の僕は第1楽章「みなかみ」の一節のように、未知の世界へ旅行しようとしています。その先には第2楽章「ダムにて」で歌われているように、困難に直面することもあるでしょう。しかし、もがき苦しんで活路を見出せば、人の役に立てる仕事をすることの喜びを知ることができるかもしれません。第3楽章「銀の魚」のように日常の美しさに気付くときや、第4楽章「川の祭」のように、それが何にしても思いっきり楽しむときを迎えたいと強く思います。そして第5楽章「河口」のように、様々な経験を

積んだ上で人の幸せを心から祈れるおおらかな人間になりたいと思います。

丸山豊さんの作詩によって、小さい川が大河となる様を人生になぞらえ表現した「筑後川」は、團伊玖磨さんの作曲によって、「河口」の壮大なエンディングで新しい世界に旅立っていく様を表現した曲になったそうです（詳しくは亀岡弘志さん記、「リリオだより雑学シリーズ 85」をご拝読ください）。故郷でこのような名曲が生まれたことを誇りに思います。

合唱組曲「筑後川」、聴いたことがないという方は是非一度聞いてみてはいかがでしょうか。

【混声合唱曲：筑後川】



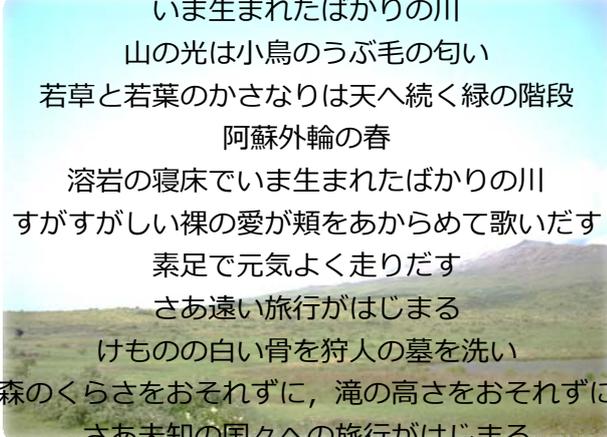
山田堰  
撮影者：坂本貴啓

[https://www.youtube.com/watch?v=ny6YqykCMzc&list=PL79bkzMhJIfKwB0vwKdr8iJslDdWT\\_OJD](https://www.youtube.com/watch?v=ny6YqykCMzc&list=PL79bkzMhJIfKwB0vwKdr8iJslDdWT_OJD)

(次は坂本貴啓さんにバトンを託します)

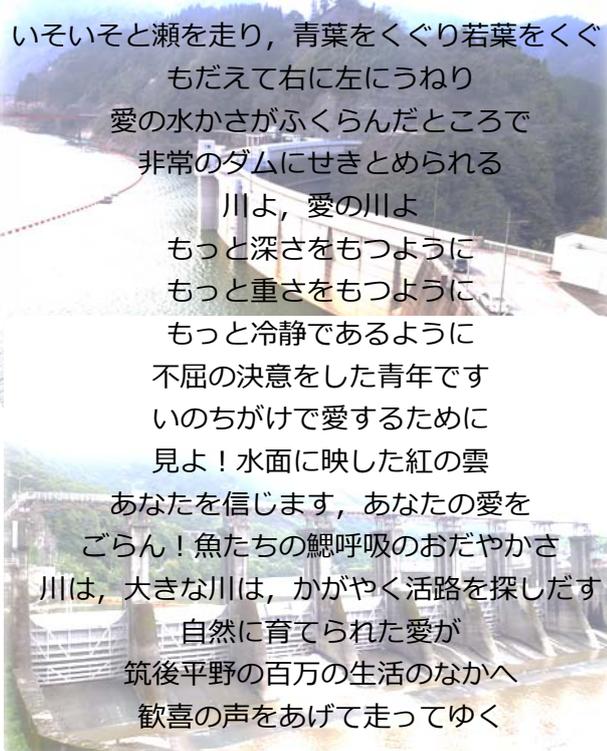
合唱組曲「筑後川」 作詞：丸山豊 作曲：團伊玖磨

1. みなかみ



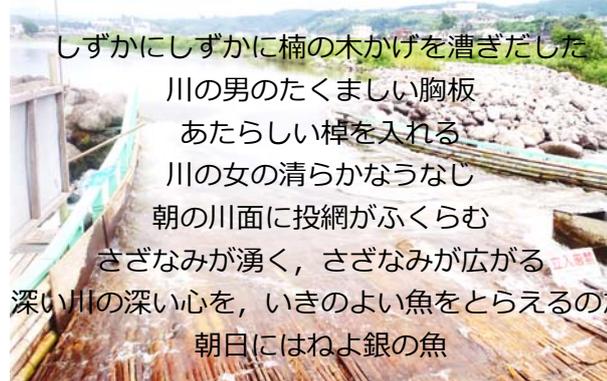
いま生まれたばかりの川  
山の光は小鳥のうぶ毛の匂い  
若草と若葉のかさなりは天へ続く緑の階段  
阿蘇外輪の春  
溶岩の寝床でいま生まれたばかりの川  
すがすがしい裸の愛が頬をあからめて歌いだす  
素足で元気よく走りだす  
さあ遠い旅行がはじまる  
けものの白い骨を狩人の墓を洗い  
森のくらすをおそれずに、滝の高さをおそれずに  
さあ未知の国々への旅行がはじまる

2. ダムにて



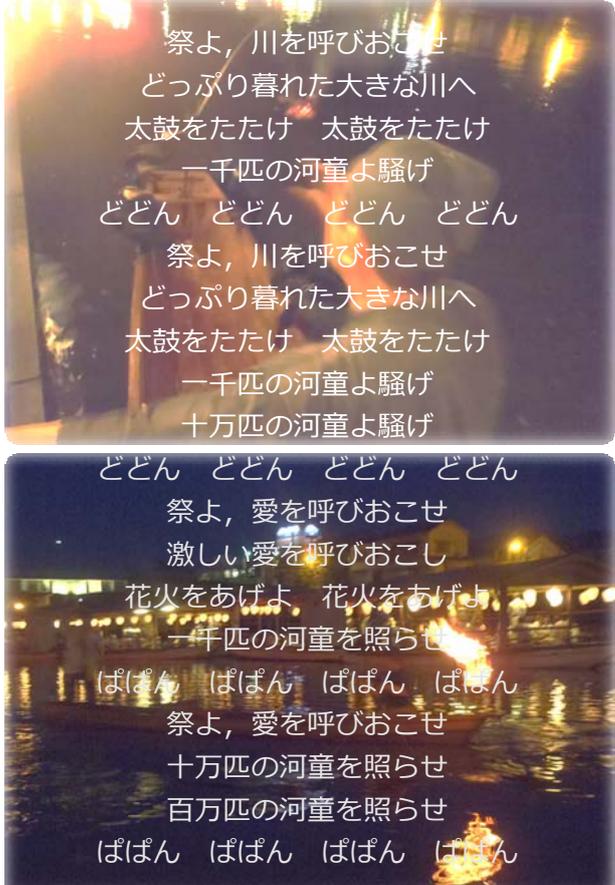
いそいと瀬を走り、青葉をくぐり若葉をくぐり  
もだえて右に左にうねり  
愛の水かさかふくらんだところで  
非常のダムにせきとめられる  
川よ、愛の川よ  
もっと深さをもつように  
もっと重さをもつように  
もっと冷静であるように  
不屈の決意をした青年です  
いのちがけで愛するために  
見よ！水面に映した紅の雲  
あなたを信じます、あなたの愛を  
ごらん！魚たちの鰓呼吸のおだやかさ  
川は、大きな川は、かがやく活路を探しだす  
自然に育てられた愛が  
筑後平野の百万の生活のなかへ  
歓喜の声をあげて走ってゆく

3. 銀の魚



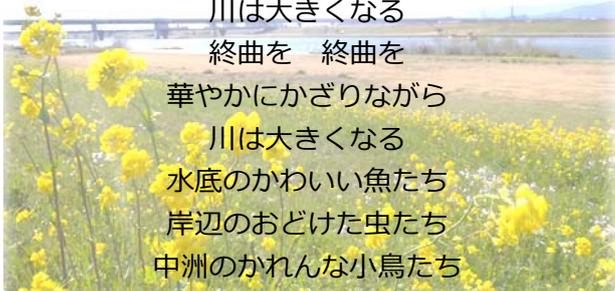
しずかにしずかに楠の木かげを漕ぎだした  
川の男のたくましい胸板  
あたらしい棹を入れる  
川の女の清らかなうなじ  
朝の川面に投網がふくらむ  
さざなみが湧く、さざなみが広がる  
深い川の深い心を、いきのよい魚をとらえるのだ  
朝日にはねよ銀の魚

4. 川の祭



祭よ、川を呼びおこせ  
どっぷり暮れた大きな川へ  
太鼓をたたけ 太鼓をたたけ  
一千匹の河童よ騒げ  
どどん どどん どどん どどん  
祭よ、川を呼びおこせ  
どっぷり暮れた大きな川へ  
太鼓をたたけ 太鼓をたたけ  
一千匹の河童よ騒げ  
十万匹の河童よ騒げ  
どどん どどん どどん どどん  
祭よ、愛を呼びおこせ  
激しい愛を呼びおこし  
花火をあげよ 花火をあげよ  
一千匹の河童を照らせ  
ぱぱん ぱぱん ぱぱん ぱぱん  
祭よ、愛を呼びおこせ  
十万匹の河童を照らせ  
百万匹の河童を照らせ  
ぱぱん ぱぱん ぱぱん ぱぱん

5. 河口



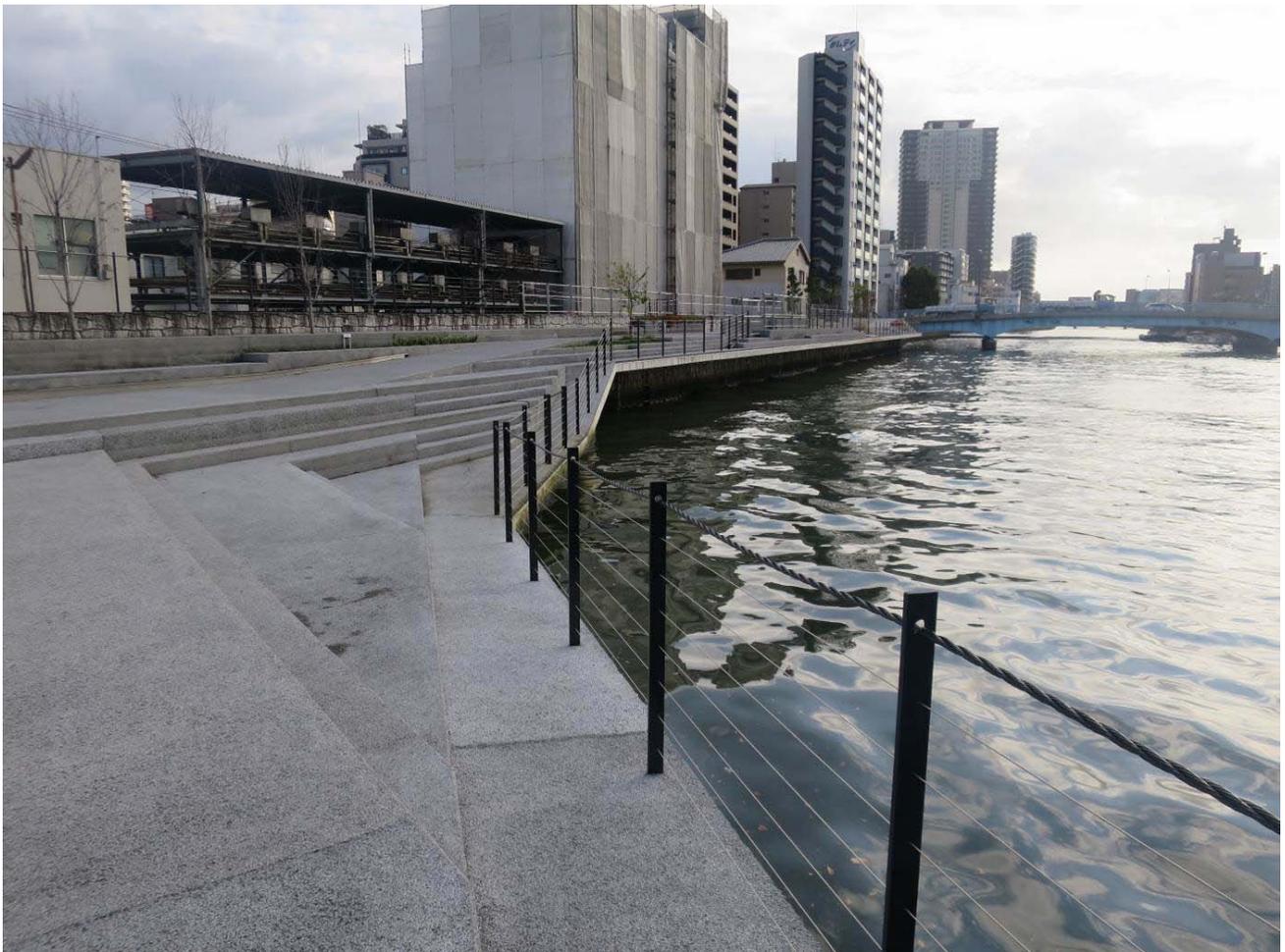
終曲（フィナーレ）を  
こんなにはっきり予想して  
川は大きくなる  
終曲を 終曲を  
華やかにかざりながら  
川は大きくなる  
水底のかわいい魚たち  
岸辺のおどけた虫たち  
中洲のかれんな小鳥たち  
さようなら さようなら  
川は歌う さようなら  
紅の櫨の葉、楠の木陰、白い工場の群よ  
さようなら さようなら  
川は歌う さようなら  
筑後平野の百万の生活の幸を  
祈りながら川は下る  
有明の海へ  
筑後川 筑後川  
その終曲あゝ

## 水辺からのメッセージ No.93

岡村幸二 (JRRN 会員)

## “私”の公共空間：

既存護岸を活かした片持ち梁の上に多様な断面計画を展開している



撮影：2016年12月（大阪府大阪市・木津川遊歩空間）

## ◆水辺に寄り添って曲がりくねる歩行空間

かつては「材木浜」の物流の要所であり、職住近接の交流拠点であった水辺のやわらかな風景を活かして、まちと人がなだらかに連続して公共空間に「私」の入る隙間をつくりました。

## ◆「みんなのための場」とは

公共空間が心地よくありつづけるためには、実は抽象的なだれかではなく特定のだれか（＝小さなファンたち）の存在が根底では大切なのではないかと考えている。（コンペ最優秀作品提案者岩瀬諒子氏より：LANDSCAPE DESGIN 2016.8）

## ■ JRRN 会員皆様からの寄稿記事を募集しています！

旅先で見かけた水辺の風景や思い、水辺再生に関わる様々な活動報告、また河川環境再生に役立つ技術等、JRRN 団体・個人会員皆様からの寄稿記事をお待ちしています。（JRRN 事務局）

JRRN 会員・ARRN 関係者からのお知らせ (2017年1月末まで提供分) Information from member

**【JRRN 会員からの提供情報】**

■ **“いい川”づくり研修会 in 山口 (2/9 開催)**

NPO 法人 全国水環境交流会より、2/9 (木) に山口にて開催される“いい川”づくり研修会のご案内です。

本研修会は、今後の河川管理の基本として示された「多自然川づくり」の基本方針にのっとり、各地の河川特性を考慮した魅力ある川づくりを進めるため、各地の川や水辺で活動する市民・住民団体と共催し、2012年11月より全国各地で開催しています。

■ **開催日：**

2017年2月9日(木)

■ **場所：**

山口県庁 1階視聴覚室  
(山口県山口市)

■ **参加費：**無料

■ **テーマ：**

多自然川づくりの技術と  
推進の方策

◆ **詳細は以下参照**

<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/2654.html>



**【JRRN 会員からの提供情報】**

■ **コウノトリ・トキの舞う地域づくりシンポジウム (2/8 開催)**

(公財) リバーフロント研究所より、2/8(水)に開催される、「コウノトリ・トキの舞う地域づくりシンポジウム ～未来へつなげる 広がる 関東エコロジカル・ネットワーク～」のご案内です。

■ **日時：**平成 29 年 2 月 8 日 (水) 13:00-16:00

■ **場所：**さいたま新都心合同庁舎 1 号館 2 F 講堂  
(埼玉県さいたま市)

■ **主催：**コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラム

■ **参加費：**無料

◆ **詳細は以下参照**

<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/2660.html>



**【JRRN 会員からの提供情報】**

■ **直方川づくり交流会 20 周年記念シンポジウム (2/18 開催)**

直方川づくり交流会・坂本貴啓さん及び古賀河川図書館・古賀館長より、遠賀川水辺館で 2/18(土)に開催される「直方川づくり交流会 20 周年記念シンポジウム:遠賀川から世界へ～元気にはばたく希望の星～」のご案内です。

■ **日時：**

2017年2月18日(土)  
14:00～19:00

■ **場所：**

遠賀川水辺館  
(福岡県直方市)

■ **主催：**

直方川づくり交流会

■ **参加費：**無料

◆ **詳細は以下参照**

<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/2676.html>



**【JRRN 会員からの提供情報】**

■ **第 21 回 荒川流域再生シンポジウム (3/12 開催)**

NPO 法人荒川流域ネットワークより、3/12(日)に開催される、「第 21 回 荒川流域再生シンポジウム」のご案内です。

■ **日時：**

2017年3月12日(日) 12:30 開場 13:00 開始

■ **場所：**

国立女性教育会館  
大会議室  
(埼玉県嵐山町)

■ **参加費：**無料

◆ **詳細は以下参照**

<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/2664.html>



### (国内の河川・流域再生に関する主なイベント)

※前頁でご案内した行事は本欄では掲載していません。

#### ■かわまちづくり全国会議～川から始まる地方創生～

○日時：2017年2月1日(水) 14:00～17:15

○主催：国土交通省水管理・国土保全局

○場所：星陵会館 ホール (東京都千代田区)

<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/2537.html>

#### ■平成28年度 川づくり団体全国事例発表会

○日時：2017年2月3日(金) 13:00～17:20

○主催：公益財団法人河川財団

○場所：東京大学山上会館(東京都文京区)

<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/2546.html>

#### ■平成28年度 河川教育研究交流会

○日時：2017年2月4日(土) 9:30～15:30

○主催：公益財団法人河川財団

○場所：東京大学山上会館(東京都文京区)

<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/2548.html>

#### ■第10回淡海の川づくりフォーラム

○日時：2017年2月4日(土) 9:30～16:30

○主催：第10回淡海の川づくりフォーラム実行委員会事務局

○場所：滋賀県危機管理センター(滋賀県大津市)

<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/2532.html>

#### ■シンポジウム「奥八女・矢部川源流の森を考える」

○日時：2017年2月5日(日) 13:30～17:00

○主催：矢部川をつなぐ会

○場所：八女市黒木地域交流センター(福岡県八女市)

<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/2552.html>

#### ■自然環境復元学会 第17回全国大会

○日時：2017年2月6日(月)

○主催：自然環境復元学会

○場所：日本大学理工学部駿河台キャンパス(東京都千代田区)

<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/2491.html>

#### ■流域管理シンポジウム

○日時：2017年2月27日(月) 13:00～17:15

○主催：関西広域連合

○場所：グランキューブ大阪(大阪府大阪市)

<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/2530.html>

#### ■第12回川の日ワークショップ 関東大会

○日時：2017年3月18日(土) 11:00～17:00

○主催：第12回川の日ワークショップ関東大会実行委員会

○場所：成城ホール(東京都世田谷区)

<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/2544.html>

## 書籍等の紹介

### Publications

#### ■ できることから始めよう 水辺の小さな自然再生事例集 (2015.3 発刊)

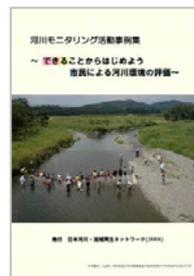
- ・監修：玉井信行 東京大学名誉教授 / JRRN 顧問
- ・編集：「小さな自然再生」事例集編集委員会
- ・デザイン：本間由佳 鶴川女子短期大学
- ・発行：日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)
- ・出版年月：2015年3月



市民が河川管理者と連携して日曜大工的に取り組む「小さな自然再生」の事例集です。小さな自然再生の専門家の方々、専門知識の社会への橋渡しの専門家、そして有志の若手研究者や実務者で協働制作しました。

#### ■ 河川モニタリング活動事例集～できることから始めよう 市民による河川環境の評価～ (2014.3 発刊)

- ・監修：白川直樹 筑波大学准教授(JRRN 理事)
- ・執筆協力：河川再生に携わる市民団体や行政機関
- ・編集：JRRN 事務局、筑波大学白川(直)研究室
- ・発行：日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)
- ・出版年月：2014年3月



市民が主体的に取り組む河川環境のモニタリング活動の実態を調べ、各地のモニタリング活動事例や市民による河川モニタリング活動の更なる活性化に向けたヒントを紹介しています。

☒上記冊子の「印刷製本版」入手方法

※PDF版はこちらから：<http://jp.a-rr.net/jp/activity/publication/>

JRRN 事務局までご連絡ください。送料のみご負担頂いた上で、無料で提供致します。(JRRN 会員限定)

## JRRN 会員募集中 JRRN membership

## ■ JRRN の登録資格 (団体・個人)

JRRN への登録は、団体・個人を問わず無料です。市民団体、行政機関、民間企業、研究者、個人等、所属団体や機関を問わず、河川再生に携わる皆様のご参加を歓迎いたします。

## ■ 会員の特典

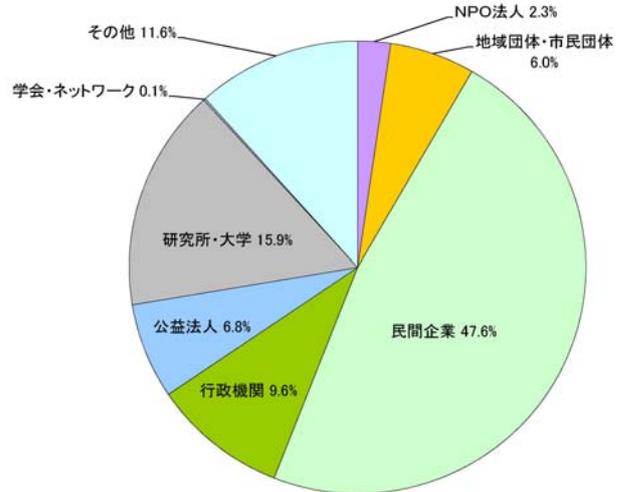
会員登録をされた方々へ、様々な「会員の特典」をご用意しています。

- (1) 国内外の河川再生に関するニュースを集約した「JRRN ニュースメール」が週1回メール配信されます。
- (2) 国内外のセミナー、ワークショップ等の開催情報が入手できます。また JRRN 主催行事に優先的に参加することが出来ます。
- (3) 必要に応じた国内外の河川再生事例等の情報収集の支援を受けられます。
- (4) JRRN を通じて、河川再生に関する技術情報やイベント開催案内等を国内外に発信できます。
- (5) 韓国、中国をはじめとする、ARRN 加盟国内の河川再生関連ネットワークと人的交流の橋渡しの支援を受けられます。

## ■ 会員登録方法

詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.a-rr.net/jp/member/registration.html>



2017年1月31日時点の個人会員の所属構成  
(個人会員数：753名、団体会員数：61団体)

※1月の新規入会数：個人会員2、団体会員1

## JRRN 会員特典一覧表 (団体会員・個人会員)

提供サービス	JRRN 個人会員	JRRN 団体会員	非会員 (一般)
1 ホームページへのアクセス及び記事へのコメント入力 ※1	◎	◎	◎
2 ホームページ「イベント情報」欄でのイベント掲載 ※2	◎	◎	◎
3 ニュースメール(週1回)の配信 ※3	◎	◎	×
4 Newsletter(毎月)及び年次報告書(年1回)等の発刊案内メールの配信 ※3	◎	◎	×
5 JRRN/ARRN主催行事の優先案内・優先参加 ※4	◎	◎	×
6 国内外の河川再生関連情報・技術収集や専門家・組織紹介の支援 ※5	◎	◎	×
7 ホームページ「会員からのお知らせ」内及びニュースメール「会員からのご案内」欄で団体が関わる行事・出版物・製品等の案内の掲載 ※6	△※7	◎	×
8 ホームページ「会員登録状況」「国内団体」内及び年次報告書内で団体名の掲載	×	◎	×
9 ARRN活動に関連する英語ニュース(ARRN Newsletter等)の不定期配信 ※8	×	◎	×
10 JRRN及びARRNが保有する国内外専門家・団体等との連携等の支援 ※9	×	◎	×

会員特典詳細はウェブサイト参照：<http://www.a-rr.net/jp/member/benefit.html>

## 【お気軽にお問い合わせください】

## 日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 事務局



〒104-0033 東京都中央区新川1丁目17番24号 新川中央ビル7階 (公財)リバーフロント研究所 内

Tel:03-6228-3862 Fax:03-3523-0640 E-mail: [info@a-rr.net](mailto:info@a-rr.net)

URL: <http://www.a-rr.net/jp/> Facebook: <https://www.facebook.com/JapanRRN>

JRRN 事務局は、「アジアにおける河川再生のためのネットワーク構築と活用に関する研究」の一環として、公益財団法人リバーフロント研究所と株式会社建設技術研究所国土文化研究所が公益を目的に運営を担っています。

